

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター鴨江 担当圏域レベル）開催報告書	
1 開催日時	令和 6 年 7 月 24 日 （ 水 ） 13 時 30 分 ～ 15 時 00 分
2 開催場所	福祉交流センター 43・44ギャラリー
3 参加者	27名
委員14名（西地区5名、県居地区5名、江西地区4名）、関係機関13名	
4 協議の内容	1. 開会 2. 委員の紹介 3. 協議内容について (1)昨年度の振り返りと今年度の方向性について パワーポイント資料を用いて第3回協議体会議の振り返りを行った。 (2)どこでもロコモ体操 元魚町集会所にてロコモ体操のリーフレットを拡大し自治会掲示板を活用し掲示をした。掲示についての問い合わせなどは特になかったが、繰り返し周知することが大事である。 (3)知って得するお出かけ講座【浜松市高齢者福祉課】 浜松市高齢者福祉課より講座内容、申し込み等について説明を行った。 4. グループワーク 《Aグループ》 ※「たまに出てくる人」の外出の機会を広げるにはどうしたらいいか。 地区ごとに行っていること、思っていることを報告した。 【西地区】 ・健康面と体力面に関わることは関心が高く、セットにすれば受け入れてもらえるのでは ・西地区では健康チェック（血圧、酸素濃度測定など）後、結果を民生委員が訪問して検診結果をお知らせしている。結果を楽しみに待っている人が多い。 ・健康診断（健康チェック）⇒体力測定（体力チェック）⇒留意事項などを自覚し、佐鳴湖ウォーキングや他行事への導入を図ったり・お誘いをしたりする流れは、ストーリー性があり非常に良いのではないかと まず健康チェックから入るのはハードルが低く、多くの人の関心ごとだと思われる ・健康チェックができるような事業所等を確認し情報提供 【県居地区】 ・東伊場は現在集まる場所がないが、集会所が改築中のためそのこけら落とし的な目的で講座を開催すれば地域住民の関心が高くなるのではないかと ⇒集会所も身近な存在に ・夏休み中子ども会がラジオ体操をしている。 ・健康講座などは《無料》とか《おみやげ付き》《地域で使える商品券》など、来れば得する特典があるなど、外出や参加のきっかけになるのでは。 ・地区の公会堂を使用すると地区外の方が参加するのは難しいのでは。

- ・個人がそれぞれの空き時間を使ってウォーキングをやっている人が多い。健康講座に集まってもらうのはいい案だが、多くの人が一堂に集まるのは難しい。
各町の集会所でこじんまりと開催する方がいいのでは。
- ・成子町は子ども会が成子幼稚園で東菅原町と共同で1週間ラジオ体操を行っている。
100名程度参加。おみやげを楽しみに参加してくれる。
- ・成子の集会所は狭いため、集まる場所があれば開催できるかも。
- ・敬老会で地元の子供も達が地元の高齢者に手紙を書いたらどうかという案が出ている。その手紙をきっかけに、お互いが声を掛けやすくなるし通学を見守ったり家から外出する機会につながるというと考えている。
- ・犬の散歩を通してコミュニケーションをとる人も増えているらしい。東伊場の遠鉄ストアのあたりは犬の散歩が多いのでラジオ体操をすれば集まるかも。
- ・平田町はロコモ体操を行う団体が立ち上がっている。
- ・どこかの地域での講座開催を調整

【江西地区】

- ・8月にボッチャを行う（三世代交流）。ゆくゆくはサロンへ発展出来たらと思っている。
- ・海老塚は脳トレマージャンが大変人気があると聞いている
- ・なでしこは女性が多いが男性の参加が少ない。祭りだと男性が参加するから目的があって楽しければ参加すると思う。
- ・江西地区は3世代交流が盛ん。外出の機会になっている。
- ・既存のサロンの中で「知って得する講座」の開催は充分可能、今後年度内で調整

《Bグループ》

※健康づくりについて、地域ごとに行っていることや予定されていることについて

【東伊場】

- ・8/1からの10日間運営はこども会が行うがラジオ体操を行う。
例年様子として、会場は2会場あり大人の参加も多くみられる
県居小学校 80～100名 うち10名ほどは高齢の男性である。
瑞生寺 30～40名
最終日には県居小学校にて自主防の協力を得て、花火の打ち上げがあり楽しみにしている人も多い。

【みつき会（サロン活動）】

- ・毎年6・11月に薬局さんに出前講座を依頼している。（その他にも中央署や包括へも講座をお願いしている。）
- ・ラジオ体操は健康維持のために行っている人が大半であると思われるが、本人の希望もあり認知症の方の参加もあった。（参加メンバーが見守りをしてくれていた。）
本人の希望にも添えるし、地域とのつながりもできる。また介護保険を使うと地域の集いの場に出ていく機会がなくなってしまうこともある。

【春日町】

メンバーの増減はないが、高齢者が多いので行きかえりに怪我がないように気をつけている。雑談が多くても集える場があることが良い。

【藤の会（土曜日）】

- ・中学生の女子生徒が参加をしてくれる（不登校ぎみなので同世代の子より高齢者の方が気楽に接することができるのでは）
→参加していることで介護福祉への進路選択のきっかけになるのでは

【西伊場町西 シニアクラブ】

- ・月水金 60名強が参加 2時間程度公園でペタンクを主に行っている。

【寿会】

- ・女性中心のメンバー構成なので男性の参加を増やしたい。

【民生委員】

- ・平日デイを利用している方が多いため、土日に訪問をすることもある。
- ・お出かけ講座も集まるきっかけにしてもらい、外出を促したい。（自治会、サロン、シニアクラブなど）
- ・各地域で講座の開催をおこないたいが、実際にはサロンにて既に実施しているところもある。（今後も継続して行っていく予定。）
- ・東伊場集会所が2025年度内に建替えとなる。新しくなることで多くの人が集まってくれることが期待される。

4. 事務連絡

5. 閉会 鴨江圏域生活支援体制づくり協議体 会長

5 今後の見通し・
必要な対応

今回の協議体では、健康づくりや外出の機会を広げるためにはどのようなことが行われていて予定されているかをグループワークにて共有をした。

各地域で健康づくりに関する講座の開催の検討をしていたり、すでに実施をしているサロンなどもある。圏域内で講座開催をしていけるよう調整を図っていく。